六日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵稅 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓增
□電話（平） 七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 森合英

今の國民の要求は政治で解決出來ぬものがある。この國民の要求を解決するものは國民情熱の現れである文學その他の藝術である（尾崎士郎）

閼伽井颪

各館主に要望す

四軒町　柴田常陽

時々つく〴〵思ふが、紙芝居の兒童間に於ける人氣たるや素晴らしいものがある。あれの影響と云はうか、感化と云はうか、兎に角兒童に相當強い刺戟性をもつて居ることは爭はれぬものがある。

茲に於て政府は、この紙芝居を利用して兒童の思想善導の具に供さうとしてゐるといふことであるが誠に結構である。

然るに之にも增して、農山漁村、炭礦地帶の老若男女就中青年男女に非常な魅力を與へて居るものは映畫である。善い意味に於いても惡い意味に於いても映畫の人氣は偉いもので興亞奉公日、定休日などはどの館も超滿員の盛況である。映畫會社の製作品は多分に非常時向になり敎育的になつて來ては居る。各館主が時局に留意されて居らるか、それとも興行價値ばかりをねらつてゐるか、その作品の批評は他日にゆづるとして大略無難なものが多いやうではあるが、映畫作品の替り目毎に新聞にけば〴〵しい折込廣告をするのは如何かと思ふ。この紙不足が叫ばれ、新聞社も整理統合され、出版界も相當に自肅の折柄たとへ數量は少いとは謂へ、折込廣告の三枚も、それも規格版以上のものが、新聞を展げるや、落ちるのは何となく遺憾に思はれてならない。成程紙の質は惡く紙量は少いかも知れないが、凡ての國民は自肅して居り、職域奉公に進んで居る。斯る場合には廣告しなくも相當の入場者は豫想さるゝのであるから、新聞廣告だけにして折込の廣告は遠慮されては如何そしてその遠慮された費用にて、遺家族の招待を望み度いのである。

民間療法と藥草

野崎順

（一九）かうほね（骨河）

（藥効）根莖を産後の血の道に用ゆ（產地）沼澤溝渠、當地方には赤沼等に自生す（性狀）ひつじぐさ科に屬する水生宿根草で葉は里芋の樣で長き柄にて水上に支へられる。七八月頃水上に花梗を抽き黃色の五辨花を開く（採集）夏の土用に根莖を掘り取り晴天の日に陽乾として一日で干上げる。

（二〇）かぼちや

（藥効）種子は南瓜仁と稱し副作用のない條虫驅除藥である、（用法）種子八匁の種皮を除いて研磨し空腹時に用ひる、アメリカにては藥局法に揭載し醫用に供されてゐる。

（二一）からしな（芥）

支那原産の越年草で我が國にも廣く栽培せられ、その種子は芥子と稱し、シニグリン、ミロジン等の成分を有し巴布劑として皮膚刺戟引赤藥として神經痛、リウマチス、肺炎、氣管支炎等に用ひられる又失神等の刺戟藥として嚏引せしむ又醫油の防腐劑としてはよくきゝ衛生上無害である、

（二二）からすびしやく（漢藥名、半夏）

（藥効）塊莖は鎭嘔劑として惡阻に賞用される即ち二三匁を二合位の水に煎じ一日二三回に分服する。但し有効成分は未詳である（產地）到る所の畑地（性狀）天南星科に屬する宿根草で地下に大豆大の塊莖があり、春季これより一二莖を出し葉柄に三小葉をつける、夏季に至り五六寸の花莖を抽き佛焰狀の花を開く。（採集と利用）十月頃葉の枯れた頃塊莖を堀取り、桶の中に入れ水と共にかき掻き廻し皮を剝し更に清水中に二三時間浸し苦汁を拔き後陽乾とする。

（二三）かきどほし（連錢草）

（藥効）一名かんとりぐさと稱し莖葉を小兒の疳虫又糖尿病等に用ゆ（產地）山野路傍、藪到る所にあり（性狀）唇形科に屬する蔓形の多年草で莖葉には一種の香氣がある。莖方形、葉は圓形で對生し緣邊に粗らきぎざ〳〵があつて、三四月頃一葉腋に一個づゝ淡紫色の花を開く（採集）夏季全草を刈取り陽陰乾して用ふ

心の影

木下雁次

3、醫者と文化團體

最近出來た各地の文化聯盟や文化協會にはお醫者さんの參加が多い。本縣でも福島、郡山などいづれも會長はお醫者さんだ、磐城文化協會にもお醫者さんが多い。

青柳有美といふ人がある。近頃さつぱり名が出ないが昔秋田中學で謹嚴な修身の先生をやつた人で、後新聞界に入つて名古屋邊にゐた、修身の先生とは凡そ緣のなささうな性愛の研究などを盛んに發表した方だ、息子が醫學博士である。この人が息子を醫者にする時の辯に曰く「醫學はすべての人生の道に通じてゐる。だから醫者は政治家にも軍人にも學者にも何にでもなれるしと。成程サーベルを下げて軍醫にもなれるし衛生技師で役人にもなれる。學校の先生になり學者になれる事は醫科大學を見ればわかる。後藤新年氏のやうに大政治家にもなれる一高の校長から文相になつた橋田さんが醫學博士なことは說明する要もない程有名だ。文學者森鷗外や正木不如丘・小酒井不木が本職は醫者でありしかも博士である。歌人齋藤茂吉も醫博であり、俳句の大家水原秋櫻子も立派な醫博である。

更らに昔に遡つて調べて見るに古事記傳の著者本居宣長は小兒科のお醫者さんであり、東西遊記の著者橘南谿も醫者であつた。八犬傳の瀧澤馬琴も原稿科よりも賣藥の方の收入が多かつたといふ說がある位である。

醫者は身體の病を治療するばかりでなく、精神の病も治療しなければならぬ。この意味で醫者は宗敎家に近いキリストや釋迦が病人をなほした話は聖書佛典の隨所にある。キリストの弟子のマコだかルカは醫者の筈である平安朝の僧侶は病人の祈禱が主な仕事であつた。また宗敎家は文學者に緣が深い。バイブルの譬話や佛典の例話は立派な文學ではないか。かう說明して來ると醫者と文學者とは深い緣があるのはもつともな話ではあるまいかしかも明治維新は宣長の古事研究が淵源し、蘭醫が曉鐘をついてゐる。即ち文化運動の先驅は醫者であつた。

自然の姿

（四倉町）　北村新一郎

雄大なるかな大自然の姿
あゝ何といふ神々しさ美しさだ
その刹那々々の山の色
山の光
野に生を受けたる
無數の草木の平和さ
統一された如きその美しさ
靜かな大自然
私は忘れてゐた
偉大なる自然の中に
生きることとの尊く
生きることとのありがたさを
新たなる春が生れた
何と云ふ明るい世界だらう
何と云ふありがたい
生存だらう
私はいつまでも〳〵
自然の懷で土の香に親しみつゝ
凡ての苦しみを忘れ
ねはんの如き生活に
生きてゆきたい

異說赤穗浪士（215）

桃川若燕
（畫）城木喬

純情の女

情の籠つた立花の言葉、聞く大高も有情の男、嬉しくない事はないが、素知らぬ顏をして

『敵を討つ位なら、お前のところへ三日に上げず來やしない、乃公は風流の道で此の世を遊んで送らうと思つてゐる、それにお前は何時まで廓へ置きたくないし、お前も以前は武家の娘だと云ふから、少しも早く玆を出たからう、私の義理ある兄は今藤堂家の重役をしてゐるし水沼久太夫と云つて八百石の大身、近い內に其處へ行つて幾分か金を借り、その金でお前の身請をしやう、又乃公の國許に少し地面があるからそれを賣つて何か商賣の資本にしようと思ふ、それにはお前も一緒に働いてお呉れ――』

『マア、嬉しい』

立花も源吾の云ふ事を本當と思つてイソ〳〵としてゐる、その夜源吾は別れを惜んで歸つたが、それつきり來ない、梨の礫、何處へ手紙をやつていゝか浪人の事故住所も判らず、立花は思ひ惱んでゐる。

と、立花のところへ來る客で、新川の酒問屋で、伊勢屋茂兵衛と云ふ人がある、これが

『花魁、お前のいゝ人大高源吾は來るかい』

『アゝ好い人だなんて……此頃は些つとも來ませんよ』

『來ない筈だね』

『何うしてゞせうか』

『何んで來ないたつて源吾は本家の松平安藝樣の御家來で大層身代のいゝ松川新左衛門と云ふ人の娘に惚れられて強つて一緒になつて吳れといふ掛合、斷り兼て婿になると決つただから花魁のところへは足が遠くなつたのさ』

『マアそれはお目出度い……』

とロでは云ふが立花の心は沸き立つやう、しかしそれとは顏にも出さず、

『さうして源吾樣もお身が堅まれば結構でございますわ……』

と云つてゐる、左右する中に、年も明けて元祿十六年二月も末の頃、又伊勢屋茂兵衛がやつて來た、

『花魁、飛んだ事を云つてしまつたよ』

『と仰有いますのは……』

『お前の好い人大高源吾は去年の暮、御主君の仇討をして、一同今月の始め切腹をしなすつた、コレ此の一句は引上げのとき儂の店へ出入りする伊丹屋六兵衛といふ者のところへ寄つて書いて行つたのだ、その話を六兵衛から聞いたので、二三日貸してお呉れとこれを借りて來たのだが…』

それへ出されたのは

『山を拔く力も折れて松の雪』

子葉としてある、紛れもない源吾の手績

『マア、そんな事とは知らず、まだ生きてゐるとばかり思つてゐましたが……』

『何か回向をしてやんなさい』

茂兵衛は其の夜遊ぶと歸つてしまふ、跡で立花は、源吾から貰つて藏つてある短册を取り出して、見るとそれには、

『朝の梅、なにもまじらぬ匂ひかな』

としてある、見てゐる中に源吾が慕はしく悲しみの淚を拭ふと、それを床の間に飾り、花や線香を手向けると

『時に源吾樣妾は何かの因緣で貴下と夫婦約束まで致しましたが思へばお主は御主人の仇討をしたい爲め、敵を欺く計略、けれど妾はお主を生涯の良人と思ひ定めて居りました、懷かしきお主に訣れたは悲しくは思ひますがこれも是非ない浮世の義理心ばかりの回向を浮んで下さいまし』

と淚乍らに回向するしをらしさ遊女だが此の立花と云ふ女は書畫にも趣味を持ち、主人から幅物を借りては已れの部屋に掛け樂しんでゐた所が、或る日大高が遊びに來た時に金が不足したので內密で此の軸を質に入れて、その金を大高に渡したことがある。

快適な筆觸
ウエル萬年筆
金貳圓より數十種
佐々木の
ガラスペン
一本金拾錢より
ガラスペン中の第一級品ですから一度御使用が永久の御愛用となる事請合
平市學校坂下
代理店
文 魁文堂 電話三一三番

お醬油は
味噌、醬油
たひら正宗
鰹節、食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話 營業部一〇番 本店二七番

口腔外科
齒科一般
レントゲン科
小名濱町中島通
門馬齒科醫院
院長 門馬忠男

立食
天婦羅
始めました
おでん
もつ燒
一平
小名濱町

石炭販賣
迅速、誠實
多少ニ拘ラズ御用命願ヒマス
平市白銀町（救世團跡）
磐新石炭店
蓮沼龍輔
電話七八七番

附屬産院新設（姙産婦入院隨意）
産科
婦人科
木村病院
平市新川町 電一六四

トンカツ
とんかつ專門の店
出前は迅速におつとめ致します
かの家
平市仲田町
電話四六五番

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處方眼鏡調製
玉屋眼鏡店 平市二丁目 電話635（呼）

平 四倉
往復券2割引40錢
▽新舞子 約二丁
▽仁井田浦 約二丁
▽四倉海岸 約一丁
▽波立藥師 約八丁
▽鰐ヶ淵 約八丁
團体は特に御相談に應じます
合名會社
平・四倉乘合自動車
電話三七〇

お宅の体溫計は正確ですか？ 每月十日は無料で休溫計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくお持ち下さい
醫療藥品 染料 塗料
工業藥品 寫眞機材料
有名賣藥 化粧品各種
衛生材料 吸入用酸素
食料品 計量器各種
計量器指定販賣所
みやこ染特約店
資生堂
小名濱町本町通り
電話一四七番

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

專門藥
こしけ りん病
岩里 別府淋藥 一週間分 參圓（黑） 五圓（赤）
痛みある病 熱ある病に…
岩里 別府散 七包入 五十錢 十五包入 壹圓
製藥本舖 別府市岩里天然堂
代理店 阿康藥局
平市古鍛治町 電話四四
振替東京三〇〇五六番

軍服調整
正しい（元陸軍御用達）
入營 應召には
軍服仕立に絕對的自信を持つ
陸軍砲工學校指定の經驗を誇る
軍服 乘馬ズボン 紳士服 國民服
平市田町丸新デパート內
菊地洋服店
電呼二十八番

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

久
和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

女車掌募集
未經驗者を希む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目 電話685番

鐵の代用品で鐵よりズツト性能が優れてゐる薪代が鐵製の半分で濟む木屑でも落葉でも御飯が炊けて毎日の燃料費が五錢も六錢も得をしておいしい御飯が炊ける（主婦之友社生活館推奬）
資源愛護
燃料經濟
廢物利用
特許 久壽竈（クスカマド）
二升炊 六圓
三升炊 六圓五十錢
四升炊 八圓
平市一丁目
武田陶器店
電話二二九

萬年筆は專門店へ
事務に!!!
進學に!!!
御祝に!!!
(公)2·00以上
岡萬年筆專門店
平市中央通り

だいこくやーコース
夏の訪れ
パナマ帽と
ムギワラ帽子

パナマ	1·60ヨリ	20圓
ムギワラ	1·00ヨリ	3·80
ヤング	1·20ヨリ	3·50

夏學生服陳列
夏の子供服陳列
夏の家庭服陳列
ブラースとワイシヤツ
平市 大黑屋

四倉春繭市場

縣下のトップ切り十五日開場

出廻り二萬八千貫か

四倉繭市場は本縣春繭市場のトップを切つて前年同樣十五日に開設することに決定、石双乾繭組合は市場の準備を進めてゐる

今年の市場出廻り豫想數量は掃立減と凍霜害の影響を受け二萬八千貫程度に止る模樣で前年の春繭數量に比較すると四割に當る一萬七千貫の激減となり、市場相場も六十掛と公定が出來たので絲量と品質に依つて多少移動はあつても貫八圓二三十錢程度に落つくものと豫想され昨年の春繭平均一圓九十錢に比較するとこれ又一貫について三圓五十錢余の安値となり、春繭の賣上高は前年の五十四萬圓に對し半額以下の二十五萬圓見當と云ふ豫想 夏秋蠶の出廻りも前年に比較すると三割減を豫想され、繭に對する期待に薄らいで來たが右について石双乾繭事務所で語る

減産の原因は凍霜害にも依るが、勞力不足や公定價格で押へられ繭が安値となつたので農家の魅力が減じたことなど大きい原因ではあるまいか

商港負擔金問題

十日の縣會協議會で承認し

修築工事愈々起工

小名濱町民が生命賭けて議會を通過せしめた商港第二期修築工事は總工費百八十八萬圓で本年度着工、三ケ年繼續事業で昭和十八年度に完成することになつてゐるがこの工費中本縣負擔の半額九十四萬圓の振當てが決定せず縣當局及地元小名濱町、工場會社等受益關係の間に折衝が重ねられこれが決らぬ爲着工の目鼻もつかず、工事の遲れることを地元側は悲觀してゐるが、縣及地元と受益者關係の負擔額が漸やく內定、十日午前十時から開かれる縣會全員協議會へ附議して承認を求め更に定例縣參事會へかけて正式決定することになつた

工費十萬圓

今年度は準備工作

別項、小名濱商港修築工事も十日の縣會協議會で負擔金問題解決と同時に內務省築港事務所が設置され活潑に工を進めることになるが本年度の工費は十萬圓で工事の準備作業に止る模樣である

尙第一期工事に使用した大鐵塔及ケーソン製作用具は全部そのまゝ元の位置に保存されてゐるが使用に堪へ得るのは鐵塔位と見られてゐるから修築工事用具を製作するだけでも相當の日數を要するらしい

前線慰問通信

☆★☆★【12】★☆★☆★

魔の流れと云はれる

漢水の急增水

漢水のほとりにて

縣議　木村守江氏

丁度こゝで使つてる三郎と命名した支那人がゐるがこれは十五才だといふが体の恰好から推定すれば十二三才位としか見えぬこの支那人が妻君を持つてゐるといふには驚ろいた、嘘だらうといふと使つてゐる兵隊迄嘘でないといふ、妻君の年令は十八才であつて而かも家に歸れば立派な夫婦生活をしてゐるがまだ男女の交際はやつてゐないらしいと言つてゐた、而して指環などをやつてパク〳〵煙草を喫つてゐる。之には驚かざるを得ない支那人は子供の時から煙草を喫ふのは煙草でも喫へば一人前となつた如く世間から認めさせる爲めだといふ、又祭りの時などは支那の十二三位の子供が料亭に入つて支那酒を飲んでは馳走を食つて醉つてゐるが、その時は公然と親が子供に金をくれて酒を飲んで來いといふてやるのだそうである、然し支那人にはペロ〳〵に醉つた人は滅多に見られないのが普通である。

五月十三日午前七時頃起床、雨は止んだがまだ降り足りないやうな天候である、然しこれ以上降られてはたまらない、晴れてくれるやうにと念ずる、然しまだ道路が悪いため交通制限されてゐるとのことにて宜昌行は今日も駄目らしいとのことである、仕方なしに當て郷土部隊の奮戰渡河したといふ南羅漢寺一帶の戰跡を調査し故大木中尉以下の英靈を慰むべく出かける、羅漢寺、南羅漢寺唐家村から舊口鎭一帶には丁度上海戰線に見るやうな交通壕塹壕が從橫に造られて激戰地を偲ばしむるに充分である、戰死者の墓は到る所に立てられてあつた、中にも一尺角位の墓標に

「沙洋討つべしと君が今はの言の葉を我ら守りつ今ぞ征くなり」

と部下は墓に誓つて奮戰の覺悟を書いた穗積甚吾氏の墓があつたのには淚なくしては讀み了せなかつた

漢水は一晝夜の降雨で水量約倍になつた、この漢水も揚子江と違はず魔の流れといはれ水面と底の方の流れは非常に異なり水中に落ちた者で助るものは殆んとないとの事である特に支那人は絕体に助らぬとのことである、これは日本人のやうに落ちるや否や夢中になつて泳ぎつくといふことなく半分駄目だと諦めることゝ泳ぎの出來ない事の爲めだらうとのことである。

又漢水は狂水ともいはれてゐる如く增水期には晴天の日に急に三米位增水するとのことである、これは大抵七八月が多いのでこれが爲めに渡河材料を流失されることが屢々であると部隊長は述懷してゐた。

然しこの頃は安陸との聯絡があるため安陸の增水を電通により知れば約十時間位で沙洋鎭が增水するとのことであり、安陸から沙洋鎭迄は約二十三里程あるとのことであるから二十三里を約十時まで增水して來るわけである、この增水が波を打つて非常な勢でやつて來るのであるから如何に商賣人の工兵隊でも何とも手のつけやうもないわけである、午後三時頃漢水を渡り沙洋鎭に至る、こゝは事變前には支那の癩患者の收容區域とされてゐたとのことであるが漢口宜昌を結ぶ重要な點である、こゝには鍋島侯の家令をしてゐたといふ檜垣中佐が居られ色々と宜昌行の便宜をはかつてくれる、着のみ着のまゝであつたのが隊長の好意により入浴する、今迄の疲れが一度に治つたやうに氣持がよい。午後八時から長官舍に於て野戰料理を御馳走になる、こゝでは歸還命令により內地に二年半ぶりで歸る渡邊中尉（皆川誠之君の實兄）に會ふ、前線の樣子をきゝながら就床する。

おちの良い　マルミ粉石鹸

榮養講話

勿來大日本炭鑛

來る十一、十二日平保健所青沼所長、海老原所員、成田榮養指導員一行は勿來町大日本炭鑛に出張婦人團體に對し衞生及榮養の講話をする

ボーナス目標

國債賣出し

平局の扱ひ六萬圓見當

上半期の賞與を狙つて十四日より賣出される報國債券、貯蓄債券並に二十日より國債など賣出されるが街には早くもポスター、立看板等が掲げられすつかり債券氣分を煽つてゐるが今回賣出す債券種類は

◇報國債券、十圓券五圓券◇貯蓄債券、七圓五十錢券、十五圓券◇國債（割引）十圓券、二十圓券（利札）二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓券

今次の割當は郵便局並に市內各銀行共に相當額に達するものと見られて居り平郵便局では大体債券一萬圓、國債五萬圓見當の見込みである

市常務委員

臨時招集

四市協議案議す

平市常務委員では今六日午後一時より市長室に臨時委員會を招集、十日福島市で開かれる大政翼贊會四市協議會に提出する議案並に出席者を協議した。

世界館主

感謝の招待

平驛前世界館主鈴木寅次郎氏は日頃から國婦愛婦會員の活躍に感謝してゐたが五日午前十時より特にこれ等會員を犒ふ意味で約二百余名を招待、目下上映中の萬壽姫を觀覽せしめたので感謝されてゐる

平局五月中の

貯金四割減少

今月は一氣に挽回圖る

平郵便局五月中の貯金預入高は二十七萬百六十二圓、拂出し二十萬九百二十三圓で純增が六萬九千圓郵貯强調期間があつたに拘らずこれを前年同期に較べると四割の減少なので今六月は百卅五億圓貯蓄達成に邁進、五月中の減少を一氣に挽回すべく大馬力を掛けることになつてゐる

補充兵敎育

指導員指導

郡市三ケ所決定

福島聯隊區司令部は來月一日から未入營補充兵指導員の指導を行ふが關係分の日割は次の通りである

△七月九日石城南部（植田）△十日石城中部（泉）△石城北部（平）

左黨の待望久しい

合成酒愈出る

釀造數量百五十石

石城酒造組合の合成酒釀造は昨五日で全部完了した、釀造石數百五十石、殆んど釀造家には利益なく唯巷間の酒不足を補ふべく計畫した左黨にとつては嬉しい便り

出廻りは早くもこゝ數日間中にお目見得するが小賣値段は等級の區別なく全部一定して樽代とも二圓で品質は第一回の試みとしては極めて優良の大評判が押された

豪雨の被害續出

正午現在の雨量坪當り二石

昨夜七時頃から降り出した雨は豪雨と變り今六日終日降り續いた爲海上の被害や浸水家屋など各地に續出、苅上げ前の麥作が倒れるなど被害甚大な模樣であるが今朝十時現在の降水量は農事試驗場の調査に依ると坪當り一石六斗七升八合余で正午現在までには降水量更に二石に達してゐる、これは相當發達した低氣壓が琉球沖合から九州四國を襲ひ北上して來た影響でこの雨も今日一ぱいが壽命明日は「曇り小雨のち曇り勝ち」の天氣となる

この豪雨で石城地方の水不足は全く解消したが今度は植ゑたばかりの二毛作馬鈴薯などが冠水し腐敗する怖れあるから農家は雨の上り次第水田の排水作業行ふやう農試から警告が發せられた

護岸十五米欠潰

漁船も遭難

小名濱港の被害甚大

暴風雨の警報で海岸一帶は警戒を嚴にしてゐるが昨五日午後二時頃小名濱港から出漁した同町竹中茂、堀越竹次共同所有のハモ船〇〇丸（六トン）は今朝に至るも歸港せず遭難したものと見られ第二東日本丸、指導船磐城丸、大敷網船など救助船を出し搜査を進めてゐるが正午までには情報無く乘組員六名の安否を氣遣はれてゐる

尙高浪のため小名濱魚市場前の護岸十五米欠潰するに至つた爲正午過ぎサイレンを吹鳴警防團員の非常招集行なひ應急處置を行つてゐる

銃後寄附

四倉町新町鈴木德太郎氏は金三十圓を町銃後奉公會に寄附した

佐藤巡査

轉向する爲退職

平市五丁目駐在所勤務佐藤和司巡査は一身上の都合で三十日附で退職した、佐藤君は劍道二段の猛者で成績もよく將來を望まれてゐた青年巡査であつた

新川危險

警防團員非常招集

各所の警備に就く

平市內も平窪地方に相當床下浸水あり、新川は氾濫し、橋梁は流失の危險な狀態となつた爲午後一時半頃サイレン吹鳴して警防團員の非常招集を行ひ、それ〴〵危險個所の警戒に當らしめ

バス交通杜絕

辛うじて綴　赤井だけ

各地の橋梁危險

豪雨の被害は午後二時半頃に至つて更に次の如く判明したが何れも自動車路が出水のため不通になり交通杜絕した

內郷村藤棚地內國道が出水して湯本、平間バスは不通、高久村神明橋が危險に瀕したため江名、平間も同樣交通杜絕した外鹿島村七本松地內が出水してこれも自動車不通、今の處では辛じて赤井行並に綴行の折返し運轉してゐる、尙ほこの外四ツ倉方面のバスも草野村原高野地內に出水あり交通に困難を極めてゐる、又好間平間は午後に至つて全く交通杜絕した

四市の

庶務會議

賞與問題等提案

十日福島市役所に四市の庶務課長會議を開くことに決定、平市から根本庶務課長出席するが協議事項は

吏員の臨時手當支給問題、雇傭員の增俸賞與問題、翼贊會關係事務取扱ひ等で平市では前年から給與した吏員の中元ボーナスを今年も給與することに內定してゐる

のあざみ

句會

各地より參集

のあざみ句會は五日午後七時より平市舊城跡聚樂園に開いたが參加者十六名でうち小川鄉草野、小名濱、江名等の各地からも同好の人々が集り盛會であつた尙ほ席題は「夏草」「河鹿」で七月の兼題は次の如く決定

孑孑、蠶豆、浴衣

感心な老母

草履作つて獻金

神谷村大字鎌田農荒川トミ婆さん（六六）は孫の保君が目下第一線に活躍中だが世間の人々が心切にして下れるのに感謝して子守の傍ら草履を作り賣却した五圓を同村役場を通じて六日陸軍恤兵部へ獻金した

チブスで

二名隔離

傳染病へ警告

鹿島村大字小部屋作農鈴木重利さん妻キヨ（三九）は小名濱町石井醫院に入院中、昨五日腸チフスと決定、同日平市隔離病舍に入院したなほ飯野村大字長谷川字吉の作農山崎サハヨさん（三一）もこの程腸チフスと決定、平隔離病舍へ

ホツキ冷凍

日水で六千貫

小名濱町日水冷凍工場では海岸魚介の水揚不振の爲め北海道よりホツキ（魚名）六千貫を買入れ冷凍して居り引續き入荷の豫定である

次の時代小說

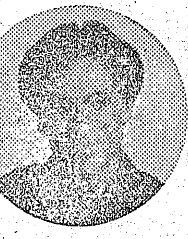
豫告

異人劍法

車谷弘作

下山望東画

本紙連載中の小說『赤穗浪士』は好評裡に近日終りを告げるので引續き車谷弘氏の力作『異人劍法』を連載することにいたしました。仝氏は東都大衆讀物界に盛名を馳する新進花形作家でその變化ある構想と絢爛たる筆致は大家の域を摩すものがあります。殊に氏は伊豆下田の產なるが故黑船來に關する史實と文獻については豐富な材料を擁しをり、蓋し當時を背景とする『異人劍法』の筆者としては眞に適所といへよう、下山望東畫伯は挿畫界の大先輩たる井川洗厓畫伯の薰陶そ受け才氣縱橫の畫風は絕讃を博することゝ信じます。



作者の言葉

車谷　弘

私の故鄕は唐人お吉で有名な伊豆下田港です、唐人お吉はもう多くの作家によつて書き荒らされてしまつた感があるがロシアの黑船デアーナ號にまつはる話はまだ誰も書いてゐない。

日魯條約締結前後の下田歷史を調べるとまだ幾多の大衆文藝の材料が礦脈のやうに埋れてゐるが、私はその鑛脈を掘りあてようとするのではない。

私はたゞ私の貧弱な空想力をたのみにしてその時代の雰圍氣の中に私の持つてゐる故鄕の夢を書きたいのです。

適正期する

酒の申告

虛僞の申告には斷案

平稅務署では曩に管內各市町村の酒類販賣業料理店、飲食店、カフエー、食堂等につき昭和十三酒造年度中の消費高を申告せしめこれによつて新配給量決定の參考とすべく取纒め中であつたがこの程やつと〆切つたが最近にない優良な成績であつた

尙ほこの申告で尠く申出ると尠なく配給されるのではないかといふ考へから無理に實績をつくつて申告したと思はれるものもあるので、これを近く再調査し若し虛僞の申告をした者に對しては斷乎として臨む方針である

清水屋の

ミール工場

江名信組で買收

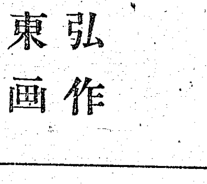
小名濱清水屋漁業部で買收した江名町岸浦日曹工場フエツシユミール機械工場一式を江名信用組合に十萬圓で賣却した

材木屋

千二百圓詐取し

平署に檢る

湯本町大字湯本字天王崎四十八材木商小野正男（三六）は去る十四年二月頃東京市日本橋區江戶町一丁目一二東採炭株式會社社長遠藤要氏より坑木を世話すると稱し千三百圓をまんまと騙取してこれを全部遊興費に使ひ散してしまつたこと平署に探知されこの程檢擧された



土曜　丙戌　大安　定　胃宿

舊五月十三日

新六月　七日

▲一白　目的の半にも達し難き日相談事は進むべし

▲二黑　自棄自棄に陷らず何事も辛捧するのが肝要

▲三碧　智略に誇れば凡力に及ばざる結果を招く日

▲四綠　才力の及ばざるを悟りて賢者に從へば安全

▲五黃　意の如く捗らざれど焦れば更に蹟きを生ず

▲六白　活動力の膨脹を來し努力して倦かざれば吉

▲七赤　薄利を以て百貨を捌き收益多大を謀るに吉

▲八白　萬事進まぬが安全不覺を生じ易き日移轉凶

▲九紫　一方の旗頭となりて采配を振ふの勢ある日

四倉町會

一萬圓追加承認

四倉町會は昨日午前九時より開き一萬五百十二圓の追加豫算を決定した、歲出內容左の如し

△土木費、六十一圓△學校費、四千七百六十二圓△商業水產青年學校費、七百八十四圓△女子青年校費、五百二十四圓△財產費、百五十三圓△地方改良費、百二十二圓△寄附金、百二十九圓△事變費、三百圓△產業購入費五百三十六圓△吏員臨時手當並に家族手當三千一百四十一圓

天氣豫報

今晚　南東の風風雨稍强い

明日　南西の風曇り後小雨曇り勝ちの天氣です

（六月七日）

滿潮　前一、一五　後一三、〇五

干潮　前八、四五　後八、三三

亡母供養

寄附二件

平市九品寺前鈴木久彌太氏は亡母の供養により市奉公會へ五日金十圓を寄附した

◇

平市田町藤田榮助氏は五日亡母の供養に次の如く合計八十圓を寄附

△國防婦人會支部二十圓△第一、二、三各國防婦人分會へ十圓△銃後奉公會三十圓

文選女工　見習募集

高卒程度

年齡十五、六才

【希望者ハ本人來社アレ】

磐城毎日新聞社

柳津虛空像尊參拜並に若松陸軍病院傷病將士慰問　團員募集

一、期日　昭和十六年六月十四日（土）五日（日曜日）

一、會費　御壹名　金拾五圓

但シ柳津、平間汽車賃往復、途中乘物一切實食並に祈禱札、付東山溫泉宿泊料金並陸軍病院慰問金ヲ含ム

（出發コース）十四日午前六時平發↓柳津着午後一時四十一分

（歸途コース）柳津發午後四時四四分↓若松着（同六時〇六分）東山不動瀧旅館（六時半）▽十五日東山（午前九時發）↓陸軍病院着（同九時半）陸軍病院慰問後自由行動…若松市內巡視…若松發（午後一時四十六分）↘平着（六時二十四分）目出度解散

募集人員五十名

〆切ハ六月十日

主催　福島縣內旅行團平支部

電一六七番（一の井方）

すべての織物が强くなる

强化・防水を兼ねた織物糊

三五　五〇セン

スフ人絹綿絹　强化と防水を兼ねた糊劑國策品

オリモト

御推奬　東京聯合婦人會　日本女子大學

あなたの手で國策協力・

家庭の物資は國家の資源です

餘裕ある方でも今は身廻りの衣類を永持ちさせ物資愛護の實を擧げる時です。オリモトで加工するとス・フが純綿同樣强くなり、純綿、絹、人絹は一層强く防水となります。オリモトは强化防水糊料と纖維を美しく强くする樹脂膠質を化合したもので……使用法は在來の糊付同樣湯に溶かし品物を浸して乾すだけで濟みます。張物は一反三錢・Yシャツは一枚一錢、靴下、足袋は一足六厘で4倍以上永持ちします。

特約店　三丁目　太丸屋

市內販賣店　平マーケツト　大黒屋　銀座町三丁目